

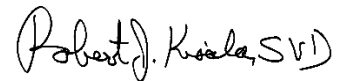
2020年9月21日

学生のみなさま、保護者のみなさま

## 学生納付金について

南山大学

学長 ロバート・キサラ



2020年度秋期の学生納付金に関連しまして、多くのご質問、ご意見が大学に寄せられています。今年度の特殊事情からすれば、先日お送りした「納付金引落の案内」にあわせて、あるいはそれに先んじて学生納付金について、大学側から説明すべきだったのかもしれませんが。その点、まずはお詫び申し上げます。

授業料や施設設備費等で構成される学生納付金は、一般に「教育役務の提供等、在学契約に基づく大学の学生に対する給付の対価としての性質」を有するものと説明されています（最高裁判決平成18年11月27日）。そして、その「教育役務の提供等」の内容は、具体的には、学生たちに「ディプロマ・ポリシー」（学位授与の方針）に掲げられている能力を身につけてもらうため、同ポリシーのもと作成された「カリキュラム・ポリシー」（教育課程編成・実施の方針）に従い編成されている授業科目を履修し、学位課程を修了させることだといえます。これに対する対価が学生納付金で、このような総合的な教育プログラムを提供するための経費であります。従って、授業料というものは、各授業科目の積み上げで構成ないし計算される性質のものではありませんし、施設設備費も、単なる利用料としての費用でもありません。

今回は、とりわけ、施設設備費に関するお問い合わせを多く頂いております。大学へ行っていない、すなわち大学の施設を具体的に利用していないのになぜ支払う必要があるのか、といったご質問です。

確かに、夏まで学生の入構を禁止しており、キャンパス内に学生の姿はありませんでした。しかし、南山大学の教育の質を維持、担保するため、あらたな設備を色々と準備する必要がありました。本学は、学生たちが授業中いつでも質問をすることのできる Zoom システムを中心に、授業支援システム WebClass と本学独自のダウンロードサーバを利用し

た授業を行うこととしました。もちろん、学生たちの利用環境を確認した上で行いました。こうした双方向性を担保した授業を全科目につき実施した大学は、全国的には必ずしも多くありません。そのために新たな設備を用意する必要があり、第1・第2クォーターの段階で3,250万円（サーバの増設、ネットワーク回線の増強、Zoomライセンスの購入等）が、対面式授業とオンライン授業が併用され、運用が複雑になった第3・第4クォーターでは5,250万円（教室へのWebカメラ・集音マイクの設置、併用方式実施のための技術的サポート、教室・図書館等の消毒作業等）が、それぞれ新規の費用として発生しました。これら8,500万円ほどの費用は、2020年度の施設設備費でまかなうことになります。

施設設備費には、現在の勉学環境を整える費用という性格に加えて、将来の勉学環境を整えるための費用という性格もあります。『南山大学五十年史』によれば、本学は、南山学園の創立者ライネルス神父や初代学長のパツヘ神父がご苦勞をされ、神言会やローマ教皇庁の支援を受け、設立されたとあります。そして、1964年には、アントニン・レーモンドが設計した現在のキャンパスに移転しています。こうした施設、設備の整備には、前述の支援が大きな力になっています。半世紀余を経て、そのキャンパスも再整備をする必要が生じ、本学は、レーモンド・リノベーション・プロジェクトとしてその再生事業を実施してきました。名古屋キャンパスと瀬戸キャンパスのキャンパス統合工事と一緒に実施した関係上、整備事業そのものは、2013年度から2020年度にわたっています。前半4年間で主にキャンパス統合の、後半4年間で主にレーモンド・リノベーション・プロジェクトの工事といえますが、工事費としては、全体で200億円弱ほど要しています。

この工事費には、従来から積み立ててきた基金および私学事業団からの借入金をあてています。後者の借入金については、すでにその返済が始まっています。これらも、施設設備費によってまかなうことになります。従来からの積み立てとは先輩たちの、また事業団への返済とは後輩たちの、それぞれ施設設備費があてられます。学生納付金を主たる財源とする私立大学では、こうした方法により、自らの施設・設備を充実していくほかありません。もちろん、その都度、獲得可能な補助金等については絶えず申請を行っていますが、これが基本の形となります。私立大学の施設、設備は、30年、50年といった長い時間軸で考えていかなければならないものです。

学生の皆様、保護者の皆様には、私立大学の有するこうした構造を是非ご理解頂き、南山大学の教育の質を維持するための、長期的な視野に立った施設、設備の整備計画にお力添えを賜りたく、あらためてここにお願い申し上げる次第です。